

平成 30 年 7 月 14 日

関係学会各位様

日本土壌肥料学会 2018 年度神奈川大会

公開シンポジウム提案者

代表 平井英明 (宇都宮大学)

「土をどう教えるか」をテーマとした公開シンポジウムの開催

常日頃、(一社)日本土壌肥料学会の活動にご理解をいただきありがとうございます。2017 年 3 月に公表されました新学習指導要領におきまして新設されました「雨水の行方と地面の様子」の単元(小学校第 4 学年理科)において「土の粒」が取り上げられましたことを受けて、本年 1 月に、当学会では、「土の粒」指導案を作成し、送付させていただくとともにホームページ(<http://jssspn.jp/edu/activity/publication/>)に公表しました。これを受けまして、文部科学省教科調査官の鳴川哲也氏をお招きして、公開シンポジウム「いま改めて問う、土をどう教えるかー土壤教育の再設計と未来の学習指導要領ー」を下記の要領で開催することとなりました。ご多忙中かとは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

【日時】平成 30 年 8 月 31 日(金) 13 時~16 時

【場所】日本大学生物資源科学部 2 号館 1 階 211 講義室

【アクセス】http://www.brs.nihon-u.ac.jp/access_map.html

【参加費】無料

【プログラム】

開会の辞

福田直(武蔵野学院大学)

- 1) 新学習指導要領と「土」に関する学習について~学習指導要領改訂のポイントと新内容導入の経緯~
鳴川哲也(文部科学省初等中等教育局教育課程課)
- 2) 「土の粒」指導案作成の背景と考え方
福田直
- 3) 「地面をつくる土の粒と雨水の行方」の指導案およびその教材開発と WEB での公開
森圭子(埼玉県立川の博物館)・村野宏達(名城大学)・赤羽幾子(農研機構)
- 4) 人類の生存基盤としての表土の重要性を実感する
平井英明
- 5) 土壌が地球環境問題の主役であることを効果的に伝えるには
白戸康人(農研機構)
- 6) 食べる窒素と環境中への窒素ロス~窒素の循環利用に欠かせない土の機能~
江口定夫(農研機構)
- 7) 総合討論:
座長団 赤羽幾子・村野宏達・平井英明・福田直

閉会の辞

福田直

【開催の趣旨】児童生徒の土の理解の増進には学習指導要領における「土」に関する内容の充実が不可欠である。2017 年 3 月に公示された新学習指導要領では、防災の観点から「土の粒」という表現が小学校理科[第 4 学年]に新たに登場したものの、食育や環境教育などの視点による「土」の取り扱いが不足しているのが現状である。本シンポジウムでは「土をどう教えるか」をキーワードとして、新学習指導要領への「土の粒」導入の経緯と本学会の対応を紹介するとともに、将来の学習指導要領で「土」を取り扱うための新たな視点の可能性(土壤教育の再設計)について議論する。

【問い合わせ先】提案者代表 平井英明 E-mail: hirai@cc.utsunomiya-u.ac.jp

【提案者】平井英明・赤羽幾子・菅野均志(東北大学)・村野宏達・福田直